

- ⑤ ポリエチレン管（融着接合）は、約 2km 布設されていたが、被害はなかった。
- ⑥ 硬質塩化ビニル管の被害件数は 25 件であり、被害率は 0.27 件/km であった。
被害形態は継手の抜け 10 件と管体破損 15 件であった。



写真 4.1 呼び径 150 ACP 管体破損



写真 4.2 呼び径 65 SGP ネジ継手破損

図 4.3 に口径別の被害率を示す。呼び径 50 以下では被害率が 0.50 件/km と高い。

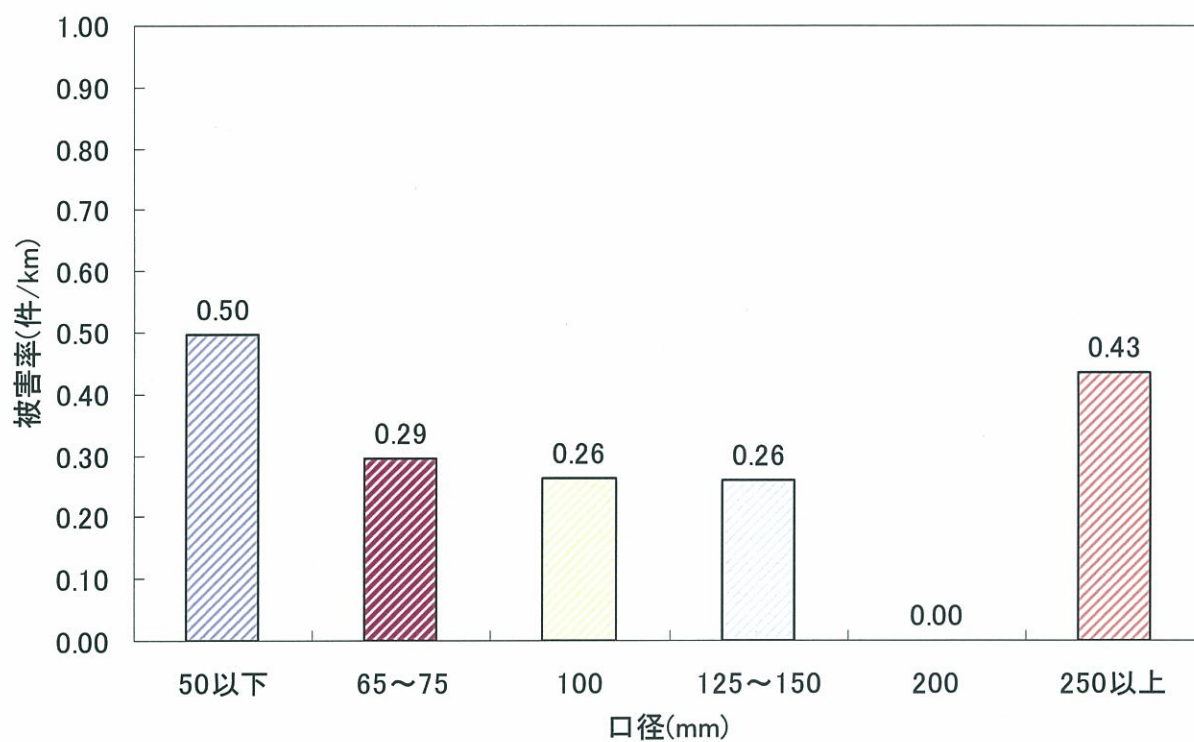


図 4.3 口径別被害率（旧門前町）